

授業概要

代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を講義する。
向精神病薬による心身の変化について講義する。
医療機関との連携や精神福祉法について講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価、心理士を目指している者が精神疾患とその治療を知ることの意義について）
第 2 回	脳の構造と機能について
第 3 回	精神疾患とその治療概論
第 4 回	気分障害について
第 5 回	不安障害について
第 6 回	統合失調症について
第 7 回	パーソナリティ障害について
第 8 回	認知症について
第 9 回	発達障害について
第 10 回	依存性障害について
第 11 回	向精神病薬の効果と副作用について
第 12 回	身体疾患と精神疾患の関係について
第 13 回	社会環境の変化と精神疾患の関係について
第 14 回	精神福祉法について
第 15 回	精神疾患とその治療のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過について一通り説明できるようになる。

履修上の注意

理解を深めるために毎回、予習、復習を行うことが望ましい。
各疾患との関連性を考えながら精神疾患の体系的な理解をしていただきたい。

予習・復習

予習として DSM5: 精神障害/疾患の診断・統計マニュアル 第5版の講義と関連した箇所を熟読することが望ましい。復習として配布資料の振り返りを行うことが望ましい。

評価方法

学期末試験。

テキスト

- 教科書名：『DSM5: 精神障害/疾患の診断・統計マニュアル 第5版』
 - 著者名：高橋 三郎・大野 裕・染矢 俊幸・神庭 重信・尾崎 紀夫・三村 将・村井 俊哉
 - 出版社名：医学書院
- 講義内容に関連した参考文献や資料をその都度紹介・配布する。